

令和6年度 静岡県立袋井特別支援学校 第2回 学校運営協議会 議事録

1 日時 令和6年 10 月 21 日(月) 9:30～11:30

2 会場 静岡県立袋井特別支援学校 会議室

3 参加者 計 17 人

(1)学校運営協議会員 7人

委員 A、委員 B、委員 C、委員 D、委員 E、委員 F、委員 G

(2)学校関係者 10 人

校長、副校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事
支援連携課長、コミュニティ・スクール ディレクター、教務課長

4 内容

(1) 校長挨拶

- ・猛暑の対応について
- ・南海トラフ臨時情報に際しての危機管理マニュアルの変更について
- ・修学旅行や宿泊を通しての児童生徒の成長について

(2) 会長挨拶

- ・今日の協議会の内容について

(3) 報告事項

① 学校経営の進捗状況

- ・前期の学習の様子をについて、写真を提示しながら報告(教頭)
- ・教育活動中間報告について、資料をもとに報告(教務課長)
- ・教育活動への提言(学校運営協議会委員)

<本校のホームページに掲載してあると良い情報>

- ・委員 B:光る子まつりや地域販売会の情報。(OB 向けにも)
- ・委員 G:トップページに行事について書かれていると良い。
- ・委員 F:画面表示が携帯用になると良い。適時更新してほしい。トップページに光る子まつりがあると良い。
- ・委員 G:見出しがやわらかいと良い。更新してあると見る。

<スクールバスの避難訓練について>

- ・委員 F:やる時は事前に教えてほしい。スクールバスの避難訓練は保護者もやりたい。
- ・学校:計画中なので、決まり次第、お伝えしていく。
- ・委員 C:能登半島地震の際の、支援学校での反省についての情報を知りたい。
- ・学校:熊本地震の際の情報では、児童生徒が「地域の避難地に避難できなかった」「地域に避難してなかなか苦しかった」と聞いている。
- ・委員 A:自治会では、自宅避難ができるように準備してほしいと伝えている。避難所にハ

ンデを背負った家族が来ることを前提として、HUG 訓練を行っている。体育館、別室のどちらが良いか、考えなければならない。地域としてどういう対応をした方が良いのか、情報が貰えると良い

- ・委員D: 医ケアの訓練で、訓練で呼吸器や加湿器を実際に発電機や蓄電池につないだことは良い。繰り返すことが大切。

<ICT機器について>

- ・委員D: 先生方同士の事務連絡は、どのように行っているか。
- ・教務課長: パソコン内の学校掲示板(全体や学部ごとの掲示板)、パソコンのメールを使って連絡をしている。情報は自分から見なければならない。

<ヒヤリハットについて>

- ・委員D: ヒヤリハットはどのようなものか知りたい。
- ・学校: 大きな事故が起こりそうになったことをヒヤリハットとして報告し、共有している。怪我や連絡帳の入れ間違い等がある。これに関しては難しく、帰りの支度の中で連絡帳を子どもたちに自分で入れてほしいが、そこで取り間違えてしまうこともある。子どもの飛び出しでは、あえてそれを楽しんでいる子もいる。

<避難所について>

- ・委員F: 保護者としては、地域の避難所には行けないと思っている。避難所に行くことが本人にも保護者にもストレスになるので、自宅か車内を考えている。地域の方はそういうことを知らない。避難所は最終で、本当に困ったときと思っている。
- ・委員A: 地域の避難所には、住民の1/3しか収容できない。2/3はあふれてしまう。自宅避難ができずやむなく来ざるを得ない人に対してと思っている。まずは、自宅避難。次に、集会所、指定避難所、学校、コミュニティセンターという順番で避難をしてほしい。家庭状況や避難所にできることを知る機会があると良い。要支援者カードを防災隊長が持っているが、要支援者は避難訓練に参加していない。主催者も「来なよ」とは言えず、対応していないというのが現状。

(4) 協議事項(司会: 会長)

「地域や社会とつながり合う授業や教育活動の実践」

① 進捗状況報告・今後の予定

- ・前期の各学部の資源活用の様子について、写真を提示しながら報告(支援連携課長)
 - 小学部: 図画工作の作品を展示。地域の動物や地域の屋台の見学。
 - 中学部: 地域施設の清掃。地域施設の方に意見をもらい、作業製品の開発。地域施設の看板を作業学習で製作。
 - 高等部: 作業学習で地域施設の清掃。SDGs活動(地域のスーパーに集めたペットボトルを届ける)
- ・公民館のお知らせを校内に掲示し、紹介。

<質疑応答>

- ・委員C: 地域での活動後は、高評価だけだが、施設に対してマイナスの意見が出ていれば聞かせてほしい。

- ・学校: マイナスの面はない。
- ・委員F: PTAも聞いていない。
- ・学校: 子どもたちに、たくさん言葉を掛けて、褒めてほしい。
- ・委員C: 安心した。
- ・委員G: 作業製品のお皿やカップが好きで家にコーヒーカップがある。それで飲むとおいしく、温かみを感じる。そういう感想を子どもたちが聞いてくれると良い。購入時に食器乾燥機に入れて大丈夫か質問したが、説明に書いてあると良い。実際に地域施設で使ってもらえると良い。
- ・学校: 地域施設では、実際に使ってもらっている。使った後の感想や使用している写真をもっている学校もある。今は Google アカウントで使ってもできるかもしれない。作業製品は、飾っておかないで使ってほしい。
- ・委員F: 食器洗い機 OK を書いてもらおうと良い。
- ・委員E: 特例子会社や企業に聞くと、ユーザーの感想は本人たちに伝えることで、働き甲斐につながっていくと言っている。

② 「光る子まつり」について

- ・光る子まつりの資料を見ながら、日程について説明(教頭)

< 質疑応答 >

- ・委員A: 製品販売は、地元でもいつ買えるのか話題になる。買いに来て良いか。
- ・学校: 以前は午前と午後で保護者と一般客を分けていたが、今年は同時に行く。地域に学校の製品のファンがいてくれて、当日は朝から並んでくれる。2月の地域販売会でも販売開始時刻前に並んでくれる。製品数が心配になってくる。
- ・委員G: 周知はホームページ以外にも行うか。
- ・学校: 高南地区の回覧板、コミュニティセンターライン、広報誌で周知する。

③ 「地域販売会」について

- ・中高販売会について、資料をもとに説明(中主事)

< 質疑応答 >

- ・委員F: 去年、保護者は学校の駐車場に停めて歩いて行ったが、現地に車を止めた人もいた。
- ・学校: 駐車場について今後検討していく。

④ その他教育活動等への提言

- ・委員B: 選挙では、卒業当初は、子どもと一緒に行ったが、今はあきらめて行かない。代理投票制度もあるが、なかなか周知されていない。代理投票は本人の意思がないとできない。高等部の教育に入れていただけると良い。
- ・学校: 高等部は、生徒会選挙を行っている。選挙管理委員に来ていただき、説明を聞き、投票の経験はしているが、主権者教育もやった方が良いという意見も出ている。
- ・委員B: 制度について、保護者への周知のきっかけ作りもやっていただけると良い。

- ・学校:袋井市との連携で、市議会議員に来ていただき、袋井市の今後について話し合う場を設けてくれている。議員を身近に感じている。どこの高校も実際の選挙箱を使っているが、特支はずっと昔から使っていた。保護者への投げかけも勉強していかなければならない。
- ・委員 B:東京狛江市では、障害者への選挙をやっている。親の意識の問題が大きいと思う。
- ・委員 D:職員に特支の卒業生がいる。就職したが、うまくいかなかった。障害者に寄り添った仕事の与え方をしてもらえれば。9月24日の朝日新聞に、障害者がユニクロに就職した記事があった。雇う側と学校でミスマッチがないと良い。卒業後も見ていただけると良い。
- ・委員 E:大学で障害者雇用の学習をしている。アンケートを取ると、障害者は何もできないと思っている学生がいた。そういう考えがなくなるように、学校でチャレンジする機会があると良い。地域が、「清掃にうちにも来て欲しい」となると良い。
- ・委員 F:PTA 防災部で、避難地に行った教員の話が聞けるそうなので楽しみだ。
- ・委員 G:ニュースで地震への注意の情報が流れると、「地震いつ来る?」と聞いてくる。不安要素を取り除くにはどうしたらよいか。雇用の件では、うちの子はB型に通っている。施設で20周年を行った。職員の方は、障害者として仕事をしてもらうではなく、仲間として仕事をもらう、一緒にやる意識でやっている。一般就労でも広がると良い。
- ・委員 D:ホームページに学校の子どもの人数や、学級数が載ると良い。
- ・委員 A:保護者は、ホームページを見ていないかもしれない。地域の人は、パッと見たときに情報が入ると良い。学校のことを知ってもらう、地域と交流という点から言うと、強調したいときは紙で配布、すぐに周知したいときはホームページ、一斉に伝えたいときはラインもある。良いツールはたくさんあるので、使っていただきたい。根っこにある広報は力を入れても良い。

5 校長挨拶

- ・お礼
- ・校内の、避難方法について、電源について
- ・地域の避難について
- ・光る子まつりについて。

6 連絡事項

- ・今後の学校運営協議会の日程を連絡(副校長)